

各部会の報告（令和8年3月5日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月4日（水）13：30～15：00	参加人数 21名
<p>今月は事例検討と情報交換を行った。</p> <p>事例提供者は相談支援事業所シエロ木村氏より、新規で相談を開始するケースで、ヘルパーによる支援と、その他に必要な支援があれば確認をしたい、また、相談支援専門員としてどうかかわっていくべきか等、今後の方向性について話合った。</p> <p>事例の内容としては、30代女性、双極性障害で、体調や気分には波がある方の生活のしづらさについて検討をした。</p> <p>参加者からの質問や意見で、本人の状態把握や困り感について、アセスメントしていくこと等の必要性についてや、課題として精神面の安定や、その人の頼れる人を見つけること等の確認ができた。</p> <p>また、「自分だったらどうする」という視点では、本人のできる力を理解することや関係性作りの工夫について提案があり、相談支援専門員として、ご本人の生き方や考え方を知ることが大事であることを学ぶことができた。</p> <p>その後に各事業所からの近況報告や情報交換を行った。</p> <p>今回の事例検討を通して、複合課題のある家庭の相談支援についての難しさや、一人事業所での対応の困難さがある現状で、この部会を通して相談支援専門員ひとりひとりが相談できる、また、一緒に考えることができる環境の場であることの共有ができた。</p>		
次回開催予定		
令和8年3月4日（水）13：30～15：00 今年度の振り返り		

精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月18日（水）13：30～15：00	参加人数 68名
<p>今月は、定例会との合同開催で、帯広市にも包括講演会「包括ケアシステムにおける自治体精神保健体制の再構築 飯能市の実践から」と題して、全国精神保健福祉相談員会副会長 飯能市福祉部主幹山本氏による講演が、にも包括アドバイザーの大塚製薬 佐々木氏の進行で開催した。</p> <p>内容としては、精神障害者支援のみならず国民のメンタルヘルス支援に関して、精神保健の課題を抱えた方、精神障害の有無や程度に関わらず誰もが安心して暮らすことができる共生社会の実現に向けた取り組み等について説明があり、事例を通じた報告があった。</p> <p>また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムには4つ（医療保健・保健予防・生活支援・地域共生）あり、保健や福祉を基軸とした協議の場や人づくりが重要であることから、重層的支援体制整備と精神保健での顔の見える関係作りを実践していく等の説明があった。</p> <p>次に帯広市の現状について、十勝障がい者総合相談支援センター門屋氏より、にも包括・重層・拠点などをよりよく推進するために、福祉と保健の柱の重要性について話題提供があった。</p> <p>精神保健部会として、今年度のテーマに「にも包括」について取り上げて、理解を深めていくことを部会内で行ってきた中で、この講演で、多職種で協働しながら地域作りへ向けて具体的に展開していくことのイメージと理解を深めることができ、今後の方向性について学ぶことができた。</p>		
次回開催予定		
令和8年3月18日（水）13：30～15：30 今年度の振り返り		

こども支援部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月6日(金) 13:30~15:00	参加人数 71名
<p>講演「親子の思い～支援機関として学び、ともに歩むには～」というタイトルで、障害のあるお子さんをお持ちの保護者3名より講演していただいた。幼少期からの育ちや、その時々での保護者の思い、今思うことや、支援者に望むことなどを盛り込んだ内容を聞くことが出来た。</p>		
次回開催予定		

権利擁護部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月26日(火) 18:30 ~ 20:00	参加人数 40名
<p>帯広市地域自立支援協議会「権利擁護部会」設置取扱基準に基づき、代表者会議を開催した。</p> <p>はじめに、帯広市より、権利擁護部会の目的や取組事項、相談窓口等について説明後、差別に関する相談事例の報告、虐待に関する事業報告を行った。</p> <p>次に、「生きづらさを感じている人達 ～見え隠れする発達障害～」というテーマで、上士幌町子ども発達支援センター 藤田 晴美 氏 にご講演いただいた。</p> <p>子どもから大人まで幅広い方々への支援に携わってこられた経験から、発達障害で悩んでいる方の事例などを通して、生きづらさを感じる人たちを取り巻く状況や、障害のある人がごく普通の生活をするためにできる対応について紹介いただいた。</p> <p>概要や会議資料については、準備が整い次第、帯広市ホームページにて公開予定。</p>		
次回開催予定		

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月17日(火) 14:30~16:30	参加人数 18名
<p>令和7年度の部会の振り返り(部会内容、研修会報告)を行った。また、各プロジェクトの取り組み、進捗状況についての報告も行った。事例検討プロジェクトでは、実際のモデルケースを選定し、災害時に想定される課題について考えていることを報告し、構成員の所属機関の災害時の取り組みなども共有し合った。また、令和8年度の取り組みの方向性については、各プロジェクト活動の継続、医ケア児者に関する啓発活動等を行っていくことを確認した。</p>		
次回開催予定		

計画部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月19日(木) 13:30~15:00	参加人数 9名
<p>(1) 日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日中サービス支援型共同生活援助を運営している3事業者から、事業所の運営状況等に関して報告や、質疑応答を実施し、評価を実施した。 今後、評価した内容を報告・評価シートで整理し、部会員の承認の上、各事業者へ提出する。 <p>(2) 令和8年度 帯広市障害福祉施策の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和8年度の障害福祉に係る予算要求の概要について、説明を行った。 		
次回開催予定		

住まいの部会		
前回の開催内容報告	令和8年2月12日(水) 13:30~15:30	参加人数 21名
<p>グループホームの支援員・世話人等や、不動産関係の方々に参加頂いた。</p> <p>「意思決定支援」をテーマに障害福祉課より概要について、愛灯学園の坪井施設長より事例について発表を行った。障害者支援施設の入所者の多くは、発語障害や言語障害を有することが多く、自分の意志や希望をうまく伝えることができない。可能な限り本人が意思決定をできるよう支援を行うが、支援を尽くしても本人の意思及び選好の推定が困難な場合について発表があった。</p> <p>その後のグループワークでは、各自が実際に行った意思決定の支援の事例をあげながら意見交換を行った。本人の意思を尊重しつつ、最善の利益に最終的にたどり着けるよう支援することの難しさを改めて考える機会となった。</p>		
次回開催予定		